

GINZA Circus Tower

今後、銀座を訪れる歩行者ネットワーク的展開に対して、街が持つ既存の「銀ブラ」の特性を生かした、銀座を歩行を通して祝祭化していくシステムを促進させるための結節点的塔の設計



新しい銀ブラの位置エネルギー

01 CONCEPT 銀座とサーカス



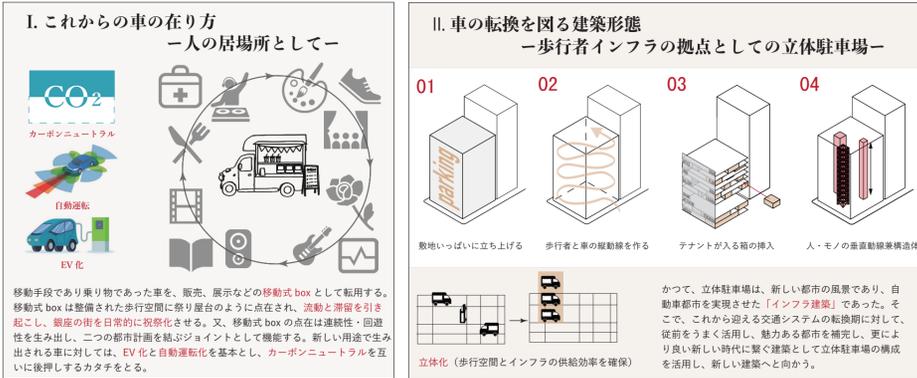
銀座には、「銀ブラ」なる共同体的イメージが400年の歴史を織り込んで存在している。その基盤として江戸の輻輳性は、人々の文化は勿論のこと、歩行者が中心だった江戸の輻輳性がそのまま残るなど歩行空間としての魅力が多岐にわたっている。そんな銀座の風景特性を生かしながら、未来へと踏み出す建築を設計する。

遠く展開されるイベント群は、進行型の空間空間の一端で、「始まり」と「終わり」が時間軸ではなく空間軸上に設定される。つまり想像的な始点/終点が顧客に内面化される状態であり、これを「銀ブラ」に転用することで歩行者と歩行者が「銀ブラ」を想起させる。それにより銀座が動的に活性化し、「銀ブラ」なるサーカス的現象が発生することで日常が祝祭空間に変わる。

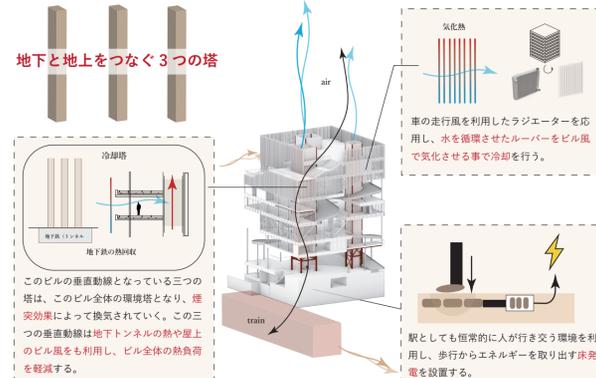
03 PROGRAM 車の転換 -モビリティからテントへ-



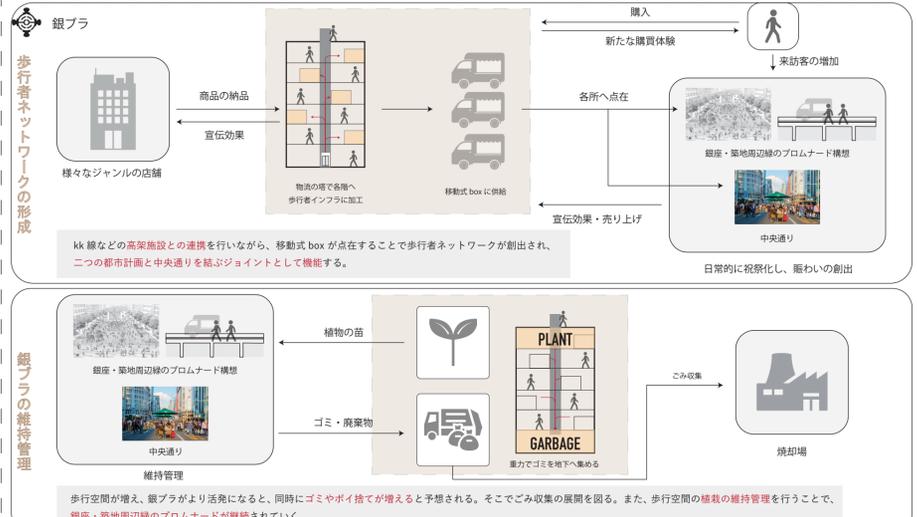
04 PROPOSAL 歩行者のための立体駐車場



05 ENVIRONMENT 結節する環境装置



06 SCHEME 銀座サーカス・シティ



02 BACK GROUND 銀座の円環舞台-銀座を取り巻く二つの都市計画-



07 ISOMETRIC 車と人が共存する塔

